

保護者様

我孫子市立高野山小学校
校長 齋藤 貴彦

令和7年度 学校教育活動(児童・保護者・教職員)アンケート集計結果のお知らせ

向春の候、皆様には益々ご健勝でお過ごしのことと存じます。

さて、12月に実施した教育活動アンケート(児童・保護者・教職員)の集計結果がまとまりましたのでお知らせいたします。今年度の学校評価について学校運営協議会と共有・意見交換をしたことを、次年度の学校運営に生かしていきます。引き続き、ご理解とご協力をお願いします。

各アンケート集計結果の分析

各項目の分析については、「そう思う・だいたいそう思う・どちらでもない・あまりそう思わない・そう思わない」の五つの観点のうち「そう思う」と「だいたい〜」の合計値の割合(%)として記載し分析しました。

昨年度課題であった保護者の回答数については、今年度は326名と大きく向上しましたが、さらに丁寧に案内を進めていくことで、より多くの意見をいただけるように進めてまいります。

1 小中一貫教育について

	児童	保護者	教職員
①我孫子中学校区では小中一貫教育の充実に努めている。	／	75	83

我孫子市では、各中学校区で「15歳の目指す子ども像」を共有し、ランドデザインを設定して、子供たちを地域で育てていくことを目的としています。我孫子中学校区では、今年度も「安全教育」に焦点をあて実施してきました。各学年のカリキュラムに「安全教育」を位置付け、地域の方々の協力や我孫子市教育委員会の助言を得ながら実践してまいりました。昨年度の保護者アンケートの結果では、「小中一貫教育に努めている」の割合が6割に届いていませんでしたが、今年度は各取組についてご理解をいただき、上記の結果となりました。今後も引き続き、小学校6年間の教育の積み重ねが小中一貫教育として実践されていることについて周知してまいります。

2 学校生活全般について

※「そう思う・だいたいそう思う」の合計値。どちらでもないは含まない。

	児童	保護者	教職員
①体験活動など、地域と連携した教育活動を行っている。	／	89	93
②子どもは、楽しく学校へ通っている。	85	89	90
③子どもは、思いやりの気持ちが育っている。	96	88	80
④子どもは、学校、家庭、地域で進んで挨拶をしている。	87	68	69
⑤子どもは、基礎学力を身に付けている。	86	83	79
⑥子どもは、進んで体を鍛え、体力が向上している。	78	67	66
⑦子どもは、安全教育に取り組み、生活安全、交通安全、防犯、防災の意識を身に付けている。	87	86	59
⑧子どもは、施設や設備の整った環境の中で学校生活を送っている。	87	78	73
⑨学校は、子どもの学習面や生活面について相談できる機会を設けている。	83	82	97
⑩学校は、熱心に授業に取り組み、きめ細かに指導に当たっている。 (児童への設問は「授業が楽しい。」)	77	82	90
⑪学校は、教育活動や子どもの様子などの情報発信を適切に行っている。	76	78	79
⑫教職員は、子ども一人ひとりを大切に指導している。	84	88	93
⑬子どもは、インターネットやタブレット等について、約束を守っている。	92	79	66
⑭子どもは、自分や友だちの心や体を大切にして学校生活を送っている。	94	90	90

3 課題の見られる設問について

②子どもは、楽しく学校へ通っている。

昨年度と比較して大きな変化はなく、三者（児童・保護者・教職員）とも肯定的回答が85%から90%となっています。一方で、10%から15%の割合で課題が見られますので、一人一人の子どもたちが楽しく学校へ通えるよう、適切な手立てを考え続けていくことが大切であると考えています。新タブレットが導入された9月以降も「心の天気」による心の健康観察を継続して行っています。

また、WebQUという調査を年二回実施することを通して、児童の悩みや不安等の状態を可視化して把握することで、より適切な対応ができるように努めております。今後も子どもたちが楽しい学校生活を送ることができるよう、支援を継続してまいります。

④子どもは、学校、家庭、地域で進んで挨拶をしている。

昨年度に引き続き、児童・保護者・教職員の間で認識のずれが見られます。児童の肯定的回答は87%と高い数値となっていますが、保護者や教職員は7割弱にとどまっており、課題を感じています。しかし、教職員の肯定的回答は昨年度比で大きく向上しました。児童会が中心となって挨拶運動に取り組んでいることもあり、進んで挨拶をする児童も増えてきています。保護者の方からも「学校での指導で挨拶ができるようになった」という前向きなご意見をいただきました。引き続き声掛けを行っていくとともに、教職員一同が挨拶のモデルとなるよう意識して取り組んでいきます。

⑥子どもは、進んで体を鍛え、体力が向上している。

三者ともに肯定的回答が8割を下回っており、特に保護者・教職員は7割を下回っています。昨年度も課題の見られた内容であったことから、今年度は、体育を専門とする職員が専科指導員として2～4年生の体育を担当し、学級担任と協力しながら授業を進めています。週3時間の体育の授業の充実を図ることで、児童の運動に対する興味・関心を高め、体力や技術を向上させることにつなげてまいります。

⑦子どもは、安全教育に取り組み、生活安全、交通安全、防犯、防災の意識を身に付けている。

児童・保護者の回答と教職員の回答に大きな差が見られました。全ページにも記載しているとおり、我孫子中学校区においては「安全・防災」をテーマに小中一貫教育に取り組んでいます。「安全・防災についてさらに学びを深めたり考えたりする機会を設ける必要がある」という教職員の意識が強く表れた結果であると考えます。学校生活においても、教室での安全な過ごし方や廊下歩行の徹底などについて声掛けを行っていきことや、交通安全教室等を行って児童の意識を高めていくことなどに努めてまいります。PTA地区委員会を中心とした旗振りやパトロール、見守り隊や「子ども110番の家」など、保護者や地域の方々に児童の安全を支えていただいていることに深く感謝申し上げます。

⑩学校は、熱心に授業に取り組み、きめ細かに指導に当たっている。（児童への設問は「授業が楽しい。」）

児童の回答が8割を下回っており、教職員との回答と差が見られました。この設問については、児童には「授業の楽しさ」、保護者及び教職員には「取り組みへの熱心さやきめ細やかさ」について調査をしていますので捉え方が異なってしまう設問となっていました。児童にとって楽しく、そして熱心できめ細やかな指導を引き続き目指すとともに、次年度は設問の設定について検討してまいります。

⑬子どもは、インターネットやタブレット等について、約束を守っている。

我孫子市では第2次教育ICTの推進により、9月から新しいタブレットPCが導入されました。児童用端末のOSがWindowsからChromeOSに変更されたり、閲覧制限がより厳密になったりしたことで、当初は戸惑いも見られましたが、現在では授業やドリル学習等で円滑に使用できています。ルールについても丁寧に確認を重ねてきたことから、多くの児童は「約束を守っている」という実感を持っているようです。一方、教職員は、情報モラルや機器の扱いについてさらなる意識向上を目指したいという思いから、肯定的回答は7割弱となりました。また、保護者の方々については、家庭における約束も含めて課題に感じられている方が一定数いるという実態がうかがえました。近年、SNSを通じたトラブルや犯罪に巻き込まれるケースが増加していることから、引き続きネットモラル教育や適切な機器の扱いについて指導を徹底してまいります。

【終わりに】

今年度は、様々な体験活動が行われるようになりました。児童の体験活動が増え、遊び、学習面、生活面で児童同士の関わりが増えました。その半面、児童同士で折り合いをつけたり、解決したりする場面であまり多くないことも多くありました。保護者の皆様からは、多くの相談をいただく中で、保護者の方とお会いして、直接コミュニケーションが取る重要性を改めて感じる1年でした。また、学校に協力していただく皆様のご協力や、ともに子どものために考えていけることは、我々教職員にとってとてもありがたいことでした。今年度も、保護者の皆様には、たくさんのご理解とご協力をいただいたことに感謝申し上げます。